

第 22 回オゾン療法セミナーのご案内

日本医療・環境オゾン学会臨床研究部会 会長 日下 史章
担当理事 杉原 伸夫

オゾン療法は、皮下注射法が戦前日本でも行われ、最盛期には日大駿河台病院に「オゾン科」が設置され、大いに治療効果をあげたと伝えられています。終戦前後の諸事情により衰退してしまい、戦後は数えるほどの個人病院で細々と行われているにすぎませんでした。しかし、1994年に日本医療オゾン研究会（現 日本医療・環境オゾン学会）が設立され普及に努めました。そのためオゾン療法に取り組む医療機関が増えてきています。ドイツで1961年に開発された自家血液療法を施療するオゾンセラピストが1995年時点で10,000人位いるそうです。皮下注射、筋肉注射、自家血液療法の他にも注腸法、オゾン化オイル、オゾン水の利用などの治療法があり効果をあげています。本セミナーでは基礎的講義から最近の日本における臨床成果も紹介し、午後には実技実習も予定しています。古くて新しいオゾン療法のセミナーに是非ご参加ください。

記

主 催：日本医療・環境オゾン学会

共 催：(有)オゾノサン・ジャパン

後 援：有限責任中間法人 日本統合医療学会

日 時：2012年3月18日（日） 9：00～17：00（受付8：30am）

場 所：SMC CAFÉ LAND（予定）（講演会場）、杉原医院（実技会場）（兵庫県 西宮市）

受講資格：日本医療・環境オゾン学会会員に限る。看護師は会員医師の推薦による。

定 員：医師・看護師10名（再受講医師・看護師は別枠）

テキスト：「ヨーロッパにおける最新のオゾン療法」（8000円にて領布、受講料と一緒にお振り込み下さい。）

参加費：医師 5万円、看護師 3万円（実技受講があります）

歯科医師、薬剤師、獣医師 2万円（実技指導の見学可）

一般受講者 2万円（実技見学はなく、昼食を取って、終了します）、再受講者1万円

（※以上、すべて昼食代含み。申し出があれば領収書を出します。また、研修証をお渡しします。）

看護師の方々は16時に終了しますが、医師ら・講師は交流会に出席の上、17時頃に終了する予定です。

振込先：三井住友銀行札幌支店、口座名 医療オゾン研究会、番号：0944205

申込み締切り：2月15日、非会員の方は入会申込みと同時にお願い致します。

申込み、問い合わせ先：Tel/Fax： 072-839-8084（中室克彦）

プログラム1(9:00～12:00)

1. オゾン療法について（総論）
2. オゾン療法の歴史
3. オゾン療法のバックグラウンド
4. オゾン療法の臨床例3～4題

プログラム2(13:00～17:00)

1. オゾン発生器の使用と取り扱い
2. 自家血液オゾン療法の医師、看護師の実習
3. 皮下注射ならびに直腸注入法のデモ
4. 器具・発生器などの現状説明